

片岡聡一総社市長の政治手法を改めることを求める決議

このたびのプレミアム付き商品券の販売をはじめ、近年の市長は、報道機関を使っていち早く市民に内容を発表し、さも可決されるのが当然の如き手法で施策を推進している。

このことは、二元代表制の一翼を担う議会を軽視した独善的手法と言わざるを得ず、執行部と対等な立場にある議会の審査権を阻害することに他ならない。

議会は、市長の提案等に対し追認するだけの機関であってはならず、そのチェック機能を十分に発揮すべき責務と役割を担っている。その意味からも、特に今回のプレミアム付き商品券の事案のような進め方は、憂慮すべき事態と考える。

よって本市議会は、議会の審議を経る前にその内容を報道機関に公表し、可決を前提として施策を展開する市長の政治手法を改めることを強く求める。

以上、決議する。

平成27年3月20日

総社市議会